

「長崎県内企業の社会貢献活動にかかる実態調査」
資料編

平成24年3月

長崎県社会福祉協議会

目次

I. 単純集計表	p.3
*問3-1は省略、問2-6は本資料Ⅱ、問6-5は本資料Ⅲに掲載	
Ⅱ. 長崎県内企業による社会貢献活動の具体的内容	p.9
Ⅲ. 長崎県内企業による社会貢献活動の活性化等に関する意見	p.23

I. 単純集計表

問3-1は省略、問2-6は本資料Ⅱ、問6-5は本資料に掲載している。なお、表中のSAは単一選択、MAは複数選択を求めた設問であることを示している。

1 社会貢献活動の有無	(SA)	
	件数	%
取り組んでいる	275	47.7
今後も取り組む予定はない	208	36.0
今後取り組む予定である	78	13.5
過去に取り組んでいたが、現在は取り組んでいない	16	2.8
回答事業所数	577	

2-1 社会貢献分野	(MA)	
	件数	%
環境	105	38.7
まちづくり	88	32.5
保健・医療・福祉	81	29.9
子ども	74	27.3
学術・文化・芸術・スポーツ	71	26.2
災害救援	57	21.0
社会教育	53	19.6
地域安全	52	19.2
観光振興	32	11.8
職業能力開発・雇用機会拡充	31	11.4
経済活性化	29	10.7
人権擁護・平和推進	25	9.2
国際協力	25	9.2
その他	19	7.0
農山漁村振興	18	6.6
男女共同参画	15	5.5
情報化社会	12	4.4
消費者保護	8	3.0
科学技術	5	1.8
回答事業所数	271	

2-2 社会貢献活動体制	(MA)	
	件数	%
貴事業所単独	137	53.9
貴事業所と行政との協働	103	40.6
貴事業所と県民活動団体との協働	82	32.3
その他	44	17.3
回答事業所数	254	

2-3 県民活動団体と連携しない理由	(MA)	
	件数	%
県民活動団体に関する情報不足	43	35.2
県民活動団体と連携・協力する機会がない	34	27.9
人的な余裕がない	31	25.4
理由はない・わからない	30	24.6
連携できる県民活動団体が見当たらない	15	12.3
その他	10	8.2
財政的な余裕がない	9	7.4
県民活動団体との連携は必要ない	7	5.7
社内の方針・コンセンサスが固まっていない	5	4.1
メリットがない	3	2.5
企業活動への悪影響	0	0.0
回答事業所数	122	

2-4 県民活動団体を選定する理由	(MA)	
	件数	%
人的つながり	63	70.0
これまでの活動実績	52	57.8
地理的条件	11	12.2
公開している情報(事業報告書・定款等)	11	12.2
その他	8	8.9
新聞・テレビ等の評判	2	2.2
回答事業所数	90	

2-5 社会貢献活動に提供する経営資源	(MA)	
	件数	%
専門的な知識、情報、技術等を提供	89	36.8
従業員による勤務時間外のボランティア活動を奨励・支援	83	34.3
資金の提供	56	23.1
業務として従業員を派遣	55	22.7
貴事業所の本業に関わるモノやサービスを無償もしくは市価より安く提供	49	20.2
従業員による勤務時間内のボランティア活動を義務づけ	31	12.8
貴事業所の施設を無償もしくは市価より安く提供	30	12.4
その他	28	11.6
貴事業所の本業とは関係ないモノやサービスを無償もしくは市価より安く提供	21	8.7
回答事業所数	242	

問2-6については、本資料Ⅱを参照のこと。

2-7 社会貢献活動の動機	(MA)	
	件数	%
地域の事業所として当然だから	158	66.4
業界団体等、貴事業所が所属する組織が取り組んでいるから	69	29.0
経営者が社会貢献に熱心だから	53	22.3
行政、県民活動団体等からの要請があったから	41	17.2
その他	24	10.1
本業の利益にもつながるから	19	8.0
従業員が社会貢献に熱心だから	16	6.7
回答事業所数	238	

2-8 社会貢献活動の成果	(MA)	
	件数	%
地域社会に対する理解	153	65.1
貴事業所のイメージ向上	85	36.2
貴事業所への市民の理解	61	26.0
従業員の意識改革	61	26.0
県民活動団体に関する理解	25	10.6
その他	9	3.8
回答事業所数	235	

2-9 社会貢献活動の課題	(MA)	
	件数	%
従業員の社会貢献活動に関する関心の喚起	86	37.1
地域社会の課題の把握	79	34.1
社会貢献活動を推進する体制の整備	70	30.2
行政や県民活動団体等、社会貢献活動における適切なパートナーの発見	44	19.0
社会貢献活動を実施するための費用の低減	37	15.9
社会貢献活動プログラムの立案	33	14.2
その他	16	6.9
回答事業所数	232	

問3-1については省略している。

3-2 社会貢献活動の途絶えた理由	(MA)	
	件数	%
その他	10	62.5
費用や人員等の負担に耐えられなくなったから	5	31.3
行政、県民活動団体等との連携が上手くいかなかったから	2	12.5
その社会貢献活動の社会的意義が薄れてきたから	1	6.3
回答事業所数	16	

4 今後社会貢献活動に取り組む際の課題	(MA)	
	件数	%
取り組むことに意義のある社会貢献活動のテーマを見つけること	58	82.9
社会貢献活動に取り組むにあたって費用、人員等の負担を軽減する方策を見つける	23	32.9
貴事業所が連携すべき相手を見つけること	20	28.6
その他	4	5.7
回答事業所数	70	

5 今後社会貢献活動に取り組むために必要なこと	(MA)	
	件数	%
本業の業績が向上し、社会貢献活動に取り組む余裕ができること	148	75.9
社会貢献活動に取り組む意義等について経営者や従業員が理解すること	35	17.9
その他	28	14.4
社会貢献活動となる要請が行政、県民活動団体等からあること	25	12.8
回答事業所数	195	

6-1 県民活動団体と連携するための条件	(MA)	
	件数	%
特にない・わからない	163	30.4
県民活動団体に関する情報の収集	161	30.0
連携・協力についての理解・意識の醸成	154	28.7
県民活動に対する理解を深めること	147	27.4
連携・協力にかかわる取り組み方針の確立	110	20.5
担当部署・担当者の配置	28	5.2
その他	20	3.7
回答事業所数	536	

6-2 県民活動団体と連携する際の要望	(MA)	
	件数	%
その他	207	40.3
特にない・わからない	201	39.1
企業活動への理解を深めてほしい	112	21.8
組織や体制を確立してほしい	92	17.9
理念や取り組み方針をはっきりさせてほしい	74	14.4
日頃の活動に関する情報を開示してほしい	12	2.3
回答事業所数	514	

6-3 県民活動団体と連携するにあたっての行政への要望	(MA)	
	件数	%
県民活動団体に関する情報を積極的に提供してほしい	185	36.9
特にない・わからない	184	36.7
県民と企業の協働に関する情報提供	123	24.6
県民と企業を繋ぐコーディネート機能の充実	101	20.2
県民・企業の協働の場の設定	86	17.2
県民と企業の協働に関するルール作り	62	12.4
県民活動団体との情報・意見交換の場を提供してほしい	60	12.0
その他	11	2.2
回答事業所数	501	

6-4 今後連携したい団体	(MA)	
	件数	%
行政(県・市・国)と連携したい	163	34.9
自治会等地域団体と連携したい	138	29.6
NPO・ボランティア団体・県民活動団体と連携したい	84	18.0
その他	81	17.3
いずれとも連携したくない	65	13.9
他の企業と連携したい	62	13.3
社会福祉協議会と連携したい	40	8.6
回答事業所数	467	

問6-5については、本資料Ⅲを参照のこと。

Ⅱ. 長崎県内企業による社会貢献活動の具体的内容

回答者が公的機関である場合を除き、プライバシーにかかる一部の表現等について、削除・修正している。

社会貢献活動内容
地域の空きビン・アルミ缶・ペットボトル回収・現金還元、環境に関するセミナー、小中高 校生職場体験、学校の草刈り処分、他
自治会活動の窓口となっている。子供110番の家(店)として長崎警察署・〇〇ネットワ ークに属する
お店のまわりの清掃(特にタバコの吸い殻)や子供達とのかかわり等。
獣医師の専門性を生かし、市民等への飼育の指導及び悩み相談等に対応している。
週1回程度西郷橋公園のゴミ拾い
(1)商店街、商工会議所、市商工部との地域活性化(2)PTA(3)自店舗にてエコバック (ポイント還元)推奨(4)東日本大震災被災者への募金継続(自店舗の募金箱)
一支国幼児相撲大会、物・人両面で支援。市民フットサル大会支援。「結の会」抽選会、 物品提供・抽選会開催。租税教室、小学生対象租税教室開催。老人ホーム慰問、物品 提供・歌舞踊披露
税金についての知識の啓蒙又、経営講演等を一般企業を対象に行っている。また、学 童には租税教室を行っている。
・菓子製造の現場を体験したい人(中学生、高校生、専門学校生、障害を持った人)に対 して職場体験を3日間から1か月間、受け入れている。 ・震災の被災地へ、現地のボランティアの方々の協力を得て当事業所で作ったケーキを 配ってもらった。
地区内安全パトロール等に参加
①日曜日(営業の休みの日)に、無料で場所を提供し、そこでピアノ教室を開いている (安い授業料で)。 ②アーケードを通るときに定期的に、ゴミ拾いをしている(障害者が中心になり実施して いる)。 ③日曜日に作業所を開放し、インターネットを使ってもらったり、指導(パソコン)を無料で 実施。
・薬剤師知識を活かしての学校薬剤師として活動。 ・学校保健委員会への参加。 ・薬物乱用防止講演会講師。
町民に対しての講演会、被災地への物資の送付など

<ul style="list-style-type: none"> ・事業として扱っている材木の使用本数分を森林組合に苗木を寄贈して植林してもらっている。 ・新人教育時に年 1 回植林活動を行っている。 ・事業所周辺の週 1 回の清掃活動。
<ul style="list-style-type: none"> ・商店街による、ボランティア活動に参加。
<p>毎年、クリスマスに施設・保育園にサンタを派遣している</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・植林ボランティアへの参加。 ・市内清掃(空缶、ゴミ拾い)～年 1 回。 ・公共施設の除草
<p>老人会に対して、ゲートボール大会の開催、毎年 1 回、立案から企画・予算・人材すべて。</p>
<p>長崎県内の愛護団体の登録を受け、主に県道、国道の清掃活動を年 4 回程度実施している。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・カラクリ人形保存会へ寄附。 ・小学校ソフトボールクラブ夜間照明費用へ寄附。
<p>東北大震災への義捐金支援。エコ安全ドライブやECO-NET 約款推進を通じた環境問題取り組み。</p>
<p>活動団体の催物に参加し、市民に技術・サービスを無償提供。</p>
<p>スポーツ大会、発表会等への協賛。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動として、行政、他団体と協力して、環境保全やリサイクル活動、省エネ活動を教宣するため、人材の派遣を行っている。 ・平和の取り組みとして、消費者を対象とした平和学習、碑めぐりガイド、平和誌の発行を行っている。・幼老共生の施設を開放して集う環境を整えている。 ・川の清掃活動への業務外での参加。
<ul style="list-style-type: none"> ・学校、幼稚園等大工、左官の仕事で奉仕できる分を毎年 1 回修繕等労務提供している。これは、20 年以上続けている。・学校児童(PTA 連合会からの要請)、地域まつり等イベント時において、親子木工体験コーナーとして年に 3 回から 5 回程度参加。・地域イベント等にスタッフとして参加、準備等、木工技術の要請に応じている。
<ul style="list-style-type: none"> ・県道の除草作業を杵岐振興局を通じて実施。 ・年数回献血活動を杵岐市地域防災協会会員として実施。 ・地域、小中学校に対し、商工会からの要請により必要な活動を実施。
<p>例年 8 月 5 日にタクシー乗り場の清掃活動を行っている。</p>
<p>道路・公園の清掃、美化活動。</p>

無床診療所として在宅医療支援事業に協力し参加。また、同団体の運営に対して融資の寄付を行い、その活動を支援。
年間4回推進されている交通安全運動(毎回10日間)期間中(7時30分から8時10分)街頭活動。
毎年10月20日から31日まで「さわやかコミュニティ旬間」として全社的に活動している。浦上天主堂ステンドグラスの清掃、島原城石垣清掃等。毎月5日に平野町周辺の一斉清掃をしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校へ新聞の役割の出前授業をしている。 ・県警と連携し高齢者の安否や防犯に気を付けている。 ・子供映画会年2回招待。 ・金婚式表彰と記念品贈呈。 ・施設への車いす、送迎車寄贈。 ・ポスティング、配送業務委託(障害者施設)。
道路、護岸の清掃
マリナー業による資材(船舶)等人員の提供やキャンプ場施設の提供
長崎県と連携して宮摺海水浴場の清掃
環境に関する情報をセミナーなどを通じて提供している
保健所のキャンペーンや地域での取りまとめ地域の食品取り扱い業者に対して
事業所の周りのゴミ拾い、椿公園の管理を農林課より委託されている
財団法人麻薬、覚せい剤乱用防止センター「ダメ・ゼッタイ」国連支援募金事務局に平成21年度から募金活動しています。
当社の社員および資機材を用いて道路清掃ボランティア及び道路アダプト活動を2路線において各4回、計年8回行っている。また、各現場においても、施行区域周辺の実情や要望に応じ、清掃ボランティア・買われた構造物の修繕などを行っている。
駐留軍退職者に対する相談窓口(生活、就職、他)
資金の提供
地域のごみ拾いや花の水やり 学校等への人権教育(障害理解について)
<ul style="list-style-type: none"> ・大浦諏訪神社の担ぎ手として参加(年2回) ・独居老人の方の食事会(月1回)において血圧測定、講話・長崎市民大清掃(年1回)
<ul style="list-style-type: none"> ・小川原浦老人クラブ グランドゴルフ大会協賛 ・大村室内音楽団 協賛 ・諫早商業高校吹奏楽定演 ・長崎県展 協賛
地域で開催される行事の参加協賛、医療班の人材派遣など

諫早市の観光資源である、眼鏡橋周辺の本明川にホテルを蘇らせる活動に取り組むことを通じて、明るく魅力のある街づくりや地域活性化及び環境保全に貢献することを目的に参加している。
毎年お世話になった島民市民に対し「大感祭」を実施している(約300名)・訪れた庁に島の魅力を知ってもらうため島民あげて、歓迎するイベントの実施。 ・島の特産品を販売する。(商売人が知恵を出した特産品) ・大感謝祭の後日、島の幼稚園、小中学生、父兄に畑を開放し、トマト狩り体験の実施。
・道路(歩道)の清掃、除草作業 ・海岸の漂着物(漂流物?)の除去(重機を使用する場合も有り)
毎月一日クリーンデーとして商店会において道路清掃作業を行っている
会社周辺の清掃活動・東北被災地ボランティア活動
・テレビ、ラジオの放送(番組、ニュース、スポットなど)を通じて行政や県民活動団体の社会貢献活動を一般の人々へ認知広報している。 ・日本赤十字社等の募金活動に対し、放送を通じて活動の広報や募金呼びかけに務めると共に自らも募金している。
地域が実施する成人祭への資金。同じく地域のクリスマス会や演奏会への資金提供
鮮魚、全般を使っているテクニックを活かし、長崎県産魚を上海市場へ空輸で運び、販路拡大と県産魚アピール活動に協力している。
・保護処分等を受けた少年等の会社受け入れ・会社周辺の清掃・ユネスコへの寄付
設計という技術を生かした、中高大学生のインターシップ事業の受け入れ
行政や民間企業と連携した、雇用創出、就労促進事業の運営、広報展開の支援
自治体の行事に参加、手伝い
・毎年6月に筒城浜海岸の清掃活動に参加している ・夏場に近隣地区の溝掃除と草刈活動に参加している。
老人会や保育園などに認知症についての話などを行っている
・受刑者の出所後の再就職への支援を行っている。 ・社会福祉協議会(県)の賛助会員として協力している。
クリーンアップ(清掃活動)・こども110番
スポーツ等サークル団体に対して商品等を提供して、活動を支援する。
「子育てちえぶくろ」を年間に(3回から4回)無料で歌・本などを提供し、1から3歳の子ども達との集まりを実施する。
長崎市道の草刈りをしている
中学生の職場体験学習に対し簡単な業務指導を通して働くことの意義などを学んでもらっている

<p>本学が有する知的及び国有財産を地域住民に還元すべく、無料講演会やグラウンド、テニスコート、体育館の開放などを行っている</p>
<p>プルタブを収集し、販売利益により車椅子を購入し、地域福祉団体へ寄付する活動(寄付は年一回)。毎年12月、1月にお客様よりご協力いただき、「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会(JCV)」「公益財団法人 シャンティ国際ボランティア会」等に寄付する。店舗にてペットボトルキャップを回収し、ペットボトルキャップ回収キャンペーンを行っているイオン様へ定期的に寄付をしている。</p>
<p>地域の行事に参加する。資金の提供。</p>
<p>毎年行われている赤い羽根募金に協力している。町内の行事(祭り相撲)に必要なのこくずの提供(子供会に)。夏休み子供会活動のかんばん用の板等の提供。あき地を駐車場として安く提供。</p>
<p>市民公開講座を開催。公共団体からの要請により、各種公的委員会や審議会に専門家に派遣。県内企業を中心に、福祉関係講習や研修会へ講師を派遣。地域住民と留学生の交流イベントを開催。学校施設を開放。</p>
<p>防災拠点施設の芝植えに人材を派遣。</p>
<p>子供達の登下校の際のヘルプ拠点として事務所待機(子供達の不審者からの保護)。</p>
<p>法人会員を中心に、公園・駅の清掃作業を行っている。</p>
<p>ペットショップ業で培った動物に対する知識・技術・資機材を活かして、犬と猫の里親譲渡会に人・車・資材を派遣・提供している。資金・資材の保管場所も提供している。また、JARFに対して人・車・資材・資金を提供して2011年3月11日～10月28日まで東北での動物支援活動に協力した。</p>
<p>会社近隣の清掃活動</p>
<p>地域の年金生活者の行動力を働く喜びに変えて、生き甲斐のより所とする為、農産物の生産を行い、目を広く開き、地産地消のチマチマしたことでなく、当社の青果物主体運営のノウハウを活用して遠く関西関東方面の大規模消費地をターゲットとして、従来耕して来た人脈を最大限に活用して、地域開発に努力している。学利のみでは広大な農地のある他地域を基盤としていると思う。</p>
<p>市民FMにおいた活動(医療情報等)。平和活動の促進。被爆者うたう会「ひまわり」の支援等。</p>
<p>当学院で行なっているのは、パソコン・不動産関係法令基準等専門的な知識・情報・技術等を提供。</p>
<p>県造園協会が実施する年1回のヒガシ花球根(300球ほど)と植え込み、人材を派遣している。</p>
<p>施設(会議室等)を初価より安く提供している。</p>
<p>NPO 法人長崎傾面研究会が春まつりやぶらり散歩、もちつき大会等障害を有する対象者の支援など。</p>

ホーム周辺の環境整備として、毎朝清掃活動を行ったり、隣接する MR のホームの花植え等を実施している。
①自社ビルでの支援施設の提供と弊社創業 48 年の経営ノウハウ・人脈の提供を企業家に対し、インキュベーションルームとして活動。5 年目となる。 ②宮城の企業とのつながりを活かして、トラックで支援物資を運び、全品被災者の手元へ直接届けた。また宮城県産品販売を行い、宮城での雇用創出及び利益は全額震災孤児へ届けている。(活動継続中) ③フリースクール、クレイン・ハーバーの活動を始めとする NPO・大学・任意団体等の社会貢献活動に対する金銭面人の紹介の協力。
災害協定(行政と各種団体)。清掃ボランティア(行政との協働)。
消防団活動に参加。城山小学校の「子供 110 番」避難所。
①勤労者・生活者の生活向上を図る目的から、県下各地区で各種セミナーを開催している。具体的には、「多重債務対策セミナー」「退職準備セミナー」などを中心に、勤労者・生活者を対象としている。 ②また、地域にける活動として、長崎市・佐世保市にライフサポートセンター開所、「労働・暮らしの相談」に応じるため専従相談員を配置している。
①社会福祉法人等に対する経営環境の整備。 ②公益法人等に対する経営環境の整備。 (①、②は専門性を活かして法制度の改正等に対応するため NPO 法人等を作り支援している。)③NPO 法人等の設立支援。
市街地の清掃活動(60~100 人規模)。毎年 1 回。
勤務時間外の清掃活動。(事業所周辺)
小児科を受診している患者が多いので、栄養士による無料の栄養相談、離乳食、食育などの相談を受けたり、栄養や生活について健康を守るための情報を常に提示している。
管内のたばこ販売協同組合と合同で清掃活動を実施している。
佐世保市健康と福祉フェスティバルに毎年参加し、他の医療、福祉団体と共に佐世保市民の体の痛みに対する相談や筋力強化法等を指導している。ひらどツデーウォークではボランティアとして平戸市内のマッサージ師と共働で参加者のコンディショニング調整を行った。子供 110 番を入口に掲示し、常時不測の事態に備えている。複数の柔道大会への救護ボランティア参加、磯での清掃活動を行う。
他企業、福祉施設などにおける美容講習。2010 年度年間 5 回実施。
ロータリークラブに所属し、定期的に清掃活動や児童スポーツ大会の運営等をしている。

<p>降雨災害、土砂災害等、自然災害について、災害の前兆、対応、日頃の危険個所の把握について学校児童に教えている。</p>
<p>ベルマークを集めて、小学校に持って行き、遊具などを購入している。</p>
<p>会社の特定を生かして、重機、人材、船等の派遣。</p>
<p>重機を貸出し、町の環境活動の花植、草刈、参加。</p>
<p>日本財団に対し、交付金の交付。県平和団体に対する寄付。(大村)市の一般会計に収益の一部を繰り入れ。</p>
<p>訪問介護事業及び地域支援事業を通して見えてくるボランティアの必要性を見て、障害のある方の自立支援や過疎地域の活性化の活動を行っています。</p>
<p>行政等の委嘱による委員としての活動、地域社会との交流活動。</p>
<p>平和パネル展を開催し、地域への情報提供。</p>
<p>59年に渡り、明るい豊かな社会を築くために多岐にわたる分野の社会貢献活動を行っています。</p>
<p>建設業での材木資材を提供し、子供達への木工教室を開催。森づくり、里山づくりをしながら森を中心に子供達が自然と遊べる場所づくりのイベントをしている。(年2回開催)</p>
<p>①社員による事業所周辺清掃(長崎アダプトプログラム) ②たばこ販売協同組合と連携して、年20回程度の市内清掃 ③ながさきみなとまつりで長崎県未来環境推進課長崎市廃棄物対策課と共備で、「JTひろえば街がすきになる運動」を開催</p>
<p>雲仙普賢岳植林活動</p>
<p>五島町の夏祭りにゲーム(ストラックアウト、輪投げ)を出店し、無償で子供達に参加させ無償でお菓子を配っている。</p>
<p>・従業員が当事業所に入社する前から行っている活動の支援 ・事業所周囲の清掃活動</p>
<p>当時行書がある道路の周辺においては、幅が広いために一般ドライバーや職業ドライバーが常態的に休憩場所として、違法駐車を繰り返しておりその上被等かつタバコの吸殻を投げ捨てているため道がゴミやタバコで汚れている状況にあります。よって当事業所の職員が毎朝、事業所の周辺の道路の清掃を実施し道路環境の美化に努めている</p>
<p>「川祭り」のときのロウソクともし</p>
<p>センターの利用者及び地域住民等よりペットボトルキャップを回収し仲介業者へ持参。仲介業者は再資源化事業者へ売却し、その収益金で発展途上国の子供へワクチンを提供する。</p>
<p>野鳥の保護、治療を当院独自に無償で行っています。また、捨て猫、捨て犬の里親探し、迷い犬の治療・保護を無償で行うことも年間通じてあります。(保護期間にトイレのトレーニング、しつけなどを行っています。)また、年に4、5回程度地域中学校からの職場体験の受け入れを行っています。</p>

大村湾の環境美化推進のためには、森林の整備が肝要である。その助言。
清掃活動、インターンシップの受け入れ
年一回市の石垣等の草刈等の作業を実施している
南島原市みんなの森守実行委員会が主催する植木祭に年一回人材を派遣している
周辺の農産物の販売(地産地消)
道守長崎会議の会員として年4回(1回6名)、国道35号線の清掃活動を実施している。また、道守会員とは別に会社独自で佐世保駅浦の清掃活動を年3回(1回10名)、そして松浦市のバイパスを年4回(1回10名)清掃して道路の美化活動に努めています。
町内の清掃活動に人材を派遣。町内のイベントに人材を派遣。各団体や個人の作品を社内ロビーを提供して展示。
<ul style="list-style-type: none"> ・香港チューリップ祭りの協賛と人材派遣(長崎南商工会の出店手伝い) ・長崎南地区活性化イベント「ながさき半島！！五活祭」人材派遣(長崎南商工会) ・長崎南部商店連合会 どんく祭り 人材派遣
道守長崎に参画。国道34号に植栽した「桜」(大村商工会議所のマイツリー)をそだてながら除草作業に参加。
一般市民に対する講演会の提供、講師の派遣
愛は地球を救う
登山・クライミング・キャンプ等アウトドアスポーツ、レクリエーションの経験豊富な山岳スポーツ指導員による体験実技講習会をジュニア層から一般迄幅広く実施しアウトドアに於ける安全・健康・環境の県民活動に取り組み合わせて専門店として必要な装備類を提供し販売する。
ホテルとしてのサービスを活かして長崎県障害者福祉事業団のケアホームヘテナント貸しをしている。(運営は事業団) 旅館業としては国内で唯一の試みである
「健全な納税者の団体、よき経営者を目指すものの団体」として納税意識の向上と地域社会の維持発展に進んで貢献するため小学校高学年を対象にした租税教室、各種の講習会、研修会を実施している。
被災地支援、まちづくり運動
県有林の保全活動、交通安全活動
マッチングギフト(年一回、NPOなど福祉団体へのカンパ)、清掃、除草
自然災害地域への陶器の提供、伝統行事等(川棚おくんちや波佐見町マラソン大会)への陶器の提供
地域の環境整備をしている
高齢者に対して物品配達
一般市民に対して献血運動もしくは募金活動、清掃を定期的に行っている

地域、学生に対して障害への理解、当事者の体験を語る等啓発活動をしている。地域への行事等もコーラス等で参加している
社会福祉協議会などに参加しています。専門的な立場から業務のあり方を考えています。
小学校、中学校に対して農産物生産の技術を活かし、食と農に対する安心安全をアピールするものであり人材、技術を派遣している。
安全運動全国県民運動期間中において自動車の運転に関する知識を活かして高齢者、女性ドライバーの講習会会場として施設及び機器を提供し、また知識の提供を行っている。
子供 110 番の家、商工会等での活動
市役所においての住宅無料相談への参加(定期的)、長崎県災害対策本部との協力
学校教育に対して小学校教材に貸し出したり、資料を展示会を開催している。(例)11月3日～ 文化村文化の日の集いなど
佐世保市を濁水や自然災害、火災などの時に水を提供、運搬する協定を結んでいる
地域住民の為に道路清掃を年30回従業員 11 名以上参加させて行っている
毎年、地域に対するふるさと振興基金として、学校や地域食品関係団体、地域文化を継承している団体に対して、資金の提供を行っている。地域の文化活動や地域おこし活動に、行員がボランティアで参加し、地域の皆さまと一体となって地域の活性化につとめている。
NPO ボランティア、市民活動団体等に対する活動資金の助成を、各団体より受け付けた申請書をもとに審査員の審査を経て受賞団体を決定し、申込金の助成を最高 30 万ほど行っている。更に助成団体を含め応募団体が集い助成フォーラムを催し、各団体との親睦交流を行っている。別紙:パンフレット、申請書を参照してください。
従業員による勤務時間外に店周清掃を実施
平和活動団体の講師から長崎市内の平和に関する記念碑などの由来・歴史を学び、碑の周辺・道路などの清掃を行っている(年 3 回程度)
住民に対して介護技術の提供、道路沿いの清掃・草刈り
地域の老人会を対象として、ゲートボール・グラウンドゴルフの大会を毎年各 1 回実施しております。
伝統文化を継承するために地域小学校、高等学校等に出向いています。 毎年長崎市民いけばな展に協力しております。
通行中のゴミ・空き缶拾い(美化)、公園の除草、衝動施設の設備の点検・修理
小冊子を 1 年に 1 度発刊し、お客様に提供している。内容は文化人を中心に対談やエッセイによりカステラに関わる内容を執筆していただいている。市内の中学校より職場体験の場を設けている。

五島市および大会実行委員会からの要請による、トライアスロン大会運営ボランティアの参加、地元栄町商店街主催のイベントへの参加および駐車場の提供
最近では震災復興ボランティアに参加しました。県の若者が作る団体と連携したいです。
アダプト活動・愛護団体活動 山地防災ヘルパー活動・消防団員等
商店街を舞台に地域住民(高齢者・子供)と商店街(商店主)が交流し、お互いに支えあいまちづくりを考える活動を推進する「ひらどホットステーション実行委員会」に対し、職員の派遣および資金の提供を行った。尚、今後も支援を行う。
事業所においてチャリティーバザーを開催(社員、パートナー会員約 50 名を動員)売上金を福祉団体寄付。青少年健全育成のため郷土芸能の練習場所を提供・指導。子供 30 名父兄共に協力してもらっている。
地区の活性化協議会に職員 1 名を参加させている
重度障害の方の遠足手伝い みなとまつり等企画 東北物産を仕入れて市長に販売・売り上げも寄付する等
業務としての事業展開の中で子供から高齢者まで全般的に子育て・福祉教育・ボランティア意識の向上・介護技術の向上等、日常生活がより心豊かに過ごせるよう実施している。業務外の時間帯でも住民の各種相談に対応できるようにスタッフの個々の資質・能力向上をはかっている。
当社施設内にある掲示板へ求人票の貼付を行っている(無償)
東日本大震災被災地におけるボランティア活動
体調不良の人の病院、自宅への配送 小学生・中学生・高校生のスポーツ活動への資金協力
組織による人的資源があり、建設業であることの安全作業に精通していることから従業員の融和を兼ねて、地域貢献の為に年 4 回程度の港湾・道路の清掃活動を行っている。
上部団体主催による年 2 回の清掃活動
市民の森、森林体験館主催の自然観察会の講師、野母崎植物園の栽培指導、絶滅危惧種の保護活動
社会生活上のストレス及び学校生活に障害のある青少年に対し、心に潤いと夢をボクシング練習を通して提供しております。
地域の消防団に入り、火事・災害時の救援には、昼夜を問わず活動している。
地域の高齢者の方(要介護者)のお世話、長崎県被災建築物応急危険度判定、こども体験学習教室、こども安全 110 番、通学路の安全チェック等
長崎市が推進する「清掃里親制度」に認定されています。今後月 1 回程度 5 名の職員を動員し、本社(出来大工町)周辺の清掃を行います。

税務の知識を生かし。NPO 法人の会計監査を行っている
長崎市が主催している無料相談会に相談員としてマンション管理工を月1回派遣しています。当団体独自の無料相談会及び市民向けセミナーの開催。シルバー人材センターへの講師派遣。
市が主催する地域の清掃活動に呼びかけを行い、賛同する社員が年3回程ボランティアとして参加。市内の小学生サッカーチームを対象としたサッカー大会の特別協賛を年1回実施。市内の中高生を対象として職場体験の受け入れを実施(随時)。おおむら夏越まつり協賛会が運営する地域行事(総おどり)に社員がボランティアとして参加。
障害者福祉サービス事業(就労継続支援B型)が主である
家具製作の技術を生かして木工教室、ワークショップ、クラフトフェア等を行っている
神の島工業団地連絡協議会が取り組んでいる、ペットボトル・ボトルキャップ運動に参加。従業員が持ち寄ったキャップを届けている。
毎月1回早朝勤務開始前に会社の近隣の清掃活動
高齢者の健康づくりと生きがいの高揚を図ることを目的とし、各種スポーツ交流大会や文化活動、すこやか長寿大学校の開講、介護講座の開催等に取り組んでいる。
町内の夏まつりやスポーツイベントへの参加
<ul style="list-style-type: none"> ・小学3年生の社会科で地元の産業、牛の勉強。 ・中学校の地域産業の体験。 ・牛乳の消費活動(地域酪農家・行政・酪農家によるミルクツーリズム)
地域の住民の皆様に医師としての知識を生かし、公民館等での講演。県体育協会への資金提供。企業での禁煙指導。ユニセフへのマンスリーサポート。院内での健康教室開催(自由参加)
下の川の清掃活動 月に一回
<ol style="list-style-type: none"> 1. 一般の人に献血への呼びかけをする。 2. 薬物乱用防止を小中学生に講演する。 3. 年に数回バザー他での売上金をボランティア団体他に提供している。
年に5~6回の国道清掃活動、業界による災害支援活動の取組み他
出前研修(①子ども達への性教育:小学校や中学校へ出かけ、身体の変化や妊娠について、生命の大切さ、妊娠中絶の防止について。②高等学校へ進路指導:看護師への道など。③地域の住民へ:インフルエンザ等感染予防など健康教室。)
<ul style="list-style-type: none"> ・食育活動推進(学校給食) ・地域活性化(水産加工業、地場産業の振興)
<ul style="list-style-type: none"> ・自治会などで行われる行事に発電機などの機材を出す。 ・車、人

<ul style="list-style-type: none"> ・年に1度清掃登山を全職員参加にて実施(稲佐山) ・年に1度児童養護施設明星園の子ども達と親睦会を実施
<p>法医学、法歯科医学で培った専門的知識・情報・技術を提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ①長崎県警察嘱託歯科医会会長 ②長崎大学歯学部学生への講義、鹿児島大学医・歯学部学生への講義 ③長崎海上保安嘱託歯科医 ④日本法歯科医学会監事 ⑤浦上警察署協議会委員 ⑥長崎県警鑑識専科生への講義 ⑦長崎歯科衛生士専門学校講義 ⑧長崎大水害、雲仙普賢岳火砕流災害、第11大栄丸・第2山田丸、東日本大震災等での身元確認⑨長崎県学校剣道連盟会長
<ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人エコキャップ推進協会へエコキャップの提供。 ・社会福祉事業への寄付金。 ・東北関東大震災義援金。
<p>平成23年7月15日当社25名、県職員2名、平戸市職員7名、他協力者合計48名にて海水浴シーズン前に海岸清掃を実施(4tダンプ1台、2tダンプ2台、ユンボ1台、ショベル1台)。平成23年12月15日と27日に県道227号線の道路除草作業を実施、8名参加。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・マングローブ植林運動について地域の小・中学校に行き「緑の授業」として普及を図る。 ・顧客代理店等に対し、災害時の人命救助活動に必要な「AED講習」等を実施。 ・エコキャップを回収し、アミュプラザに提供を続けている。
<p>地域の子供達と、漁業関係にスポーツ行事に対して</p>
<p>当地(長崎)にゆかりのある歴史上の人物・事項等の紹介並びに古来から伝わる民話をインターネット上で配信。又、そのデータをCD化して地域の教育施設に配布(幼稚園、保育所等)</p>
<p>一般市民に対し、麻薬、覚せい剤、シンナー等の防止運動を浜町アーケード、アミュプラザ広場、夢さい都などでチラシ等を配布する。県警、県薬務行政室と協働で実施する。</p>
<p>西海地域づくり、子供作文コンクール、希望による地域ボランティア公開講座など、地域に対し、研究者の派遣、施設の提供を実施している。</p>
<p>地域のイベントに対して景品等を提供。運動会等</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・県環境部と、協定を結び植林ボランティア活動を実施(苗木は当社施設で栽培)。 ・長崎県教育庁と協働して、市内の重要文化財の配線設備点検を実施。 ・県産業労働部と協働して伝統工芸産業の支援活動を実施(作品展等)他。

<ul style="list-style-type: none"> ・事業所外の環境を更に良くする為に、社員によるゴミ拾い ・清掃活動を行っている。 ・グループ会社が主催する地域住民が参画できるイベントに、当社も積極的に協力している。
ロータリークラブ会員であるため、地域の老人ホーム訪問や高校生との意見交換の窓口が年間を通じて開いている。個人的には、知的障がい者施設に側面的な支援をしている。
弱小団体等に対し、登録を推進し、施設利用料は該当活動を使用する場合は部屋代を無料化する。必要な機材等については施設内所有品についても無料貸出を行う。子育てなど事業と関連するものは後援や共催として職員派遣を行うなど支出可能であれば業務費の支出や助成を行っている。
自治会のゴミ収集所の整理活動に参加。子どもを守る店表示。一般社団法人日本弱酸性美容協会が実施する年2回の植林に出資・参加している。
台風や地震等の災害に遭われた方へ、わずかだが寄附を行っている。また、時々大学院で研究しているテーマについて講演を行っている。
デンタルフェスティバルや健康と福祉フェスティバル等において無料の歯科相談を行っている。
定期的に健康相談、お困り事相談や事業所を開放して(2-3ヶ月に1度)いる。
建築士として建築に関する活動、行政、運営への協力。個人として、ロータリークラブ、青年会議所を通じて奉仕活動。
学生の職業体験や障害者の職業体験の実施
ユニセフに寄付
1.行政の運営事業に参加し人材派遣
近隣道路 1~2 回/週清掃
・行政の農業イベントに人材を派遣している。
本会の青年部・女性部が地域内国道沿道の空き缶拾いを年1回実施。
地域子育て支援事業
市立図書館へ図書を寄贈している。
研究機関として、西海市社会福祉協議会・西海市観光協会と地域づくりに係る協定を締結して、市民主体の地域づくりに大学が連携して一層の推進を図ることとしている。また、NIU異文化理解研究室として本学留学生が小・中・高校へ出向き、母国の文化について紹介している等、人間社会学部、健康管理学部、及び薬学部の全学で地域との連携がおこなっている。

自動販売機の売上金からの寄付。(エコキャップ)
・県に登録している道路アダプト事業を年4回実施し、毎回5～10人社員が参加している。
・災害救援
NPO セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンへ、売上の一部を寄付。
学生による地域貢献活動を授業科目として開設。その他、行政や団体との産学連携・受託事業を行っている。
・周辺の環境整備として、溝掃除を行った
障害者福祉施設を年2回訪問し車椅子の清掃や窓拭きなどを行いながら施設の方と触れ合ったり、児童施設の子供達と一日マンツーマン形式で遊ぶイベントを企画したり、養護老人ホームの方々を観劇会へ招待したりしている。
大村湾の底質改善を推進すべく、大村湾海区漁業協同組合長会(9組合)と連携し、大村湾の環境問題解決に向け専門知識を生かし、組合長会と一体となり、県に理解を得るべく活動し、成果を得た。私は、専務とし勤務をしておりますが、勤務時間の内、外関係なく、ボランティア活動として支援して参りましたがこれからのこの活動の正念場を向かえます。今後も支援を継続する所存です。
社会福祉協議会で培った福祉指導技術を活かして、小・中・高校への体験学習指導に人材(職員)を派遣している。
少しでも電気の使用量が、減少出来るよう省エネ商品の提案をしている。

Ⅲ. 長崎県内企業による社会貢献活動の活性化等に関する意見

回答者が公的機関である場合を除き、プライバシーにかかる一部の表現等について、削除・修正している。

長崎県内企業による社会貢献活動の活性化等に関する意見
費用もかかるし、時間も取られるし、本当に大変ですが、これからの子供達に環境問題、エコ等伝えて一緒に親子で学んでいきたいと思えます。
当店は個人経営の小さなタバコ店です。毎朝早くから遅くまでタバコを吞まれる方がとても多いです。聞くところによれば、各会社、事業所は多くが禁煙との事で会社で吸うことが出来ないそうです。当店で吸うのはかまわないですが、一緒にたくさんの方たちが集まっていると、他の方が珍しがられます。やはり大きな会社や事業所は、それなりの喫煙所を設置したほうが、従業員の方も会社にとってもいい事ではないかと考えます。私たちは売っているのだから、覚悟はしていますので、それなりの対応はしていますが、考えることはたくさんあります。いつも店の周りや前の植木の所はきれいにしようと心がけています。小さい店でボランティアという程の事もありませんが一応記載しておきました。
医療機関として、社会貢献に尽くしているつもりですが、それ以上に、何か貢献活動を行わないといけませんか？
本社が県外なので、県内で営業所として取り組むことはないと思えます。
事業所と言っても夫婦2人だけの会社で赤字が23年続いていますので、お金では出来ません。代表者が、21年間佐世保音声訳の会(ボランティア団体・年会費3000円)に平成3年入会して、録音しています。現在雑誌「虹」の代表として、編集、研修、録音をふれあいセンターでして、作ったCDを毎月県北会館内の長崎県視覚障がい者情報センターの点字図書館に納めています。今年より依頼図書(単行本)も読んでいます。
このアンケートを書く前までは、これが社会貢献活動と特に意識していませんでした。震災後、私たちにも何かできないかと考え、知り合いを通じて仙台でボランティアをされている方を紹介していただき、何回かケーキを送らせていただきました。このことを長崎県内のケーキ店オーナーにお話したところ、大村市や長崎市のケーキ店のオーナーもぜひ参加したいと言って下さり、石巻市と気仙沼市に合計300コ以上のケーキを贈ることができました。震災後初めてのケーキと喜んでいただき、たくさんのお手紙と写真を頂いて、とてもあたたかい気持ちをいただきました。また、何かお役に立てる機会があったら、ぜひ参加したいと思っています。
県・市・国と同じ様な事を同一で行っている様に思われる。話し合いのテーブルを設けて協働すれば費用等の負担も少なくなってくるのではないかと。垣根を取り払い、譲歩し合えば余裕も生まれてくるのではないだろうかと思う。
今後も情報発信をお願いします。

<p>当社の様な零細企業に社会貢献活動の活性化を伺う前に県内の経済をアップさせる方策を立てていただき、もっと大きな事業所が積極的に社会に貢献出来る環境を作って頂きたい。</p>
<p>今後も、県内の社会貢献活動について、当事業所も積極的な取り組みを行います。</p>
<p>現在、社会貢献活動がどのような内容で、どのように行われているか、わかりません。また、わが社が取り組みにあたり、本社の承認が必要なため、支店では判断できない。</p>
<p>貢献活動の前に企業の利益を考えることで社会貢献にはつながらない。</p>
<p>本業が潤ってこそその貢献活動であると思う。景気対策がまずと考えられる。特に中央地区ばかりでなく、地方も…。また、こういう活動の意識を向上させていくには、子供のころから身に着けさせなければならないと思う。学校教育に取り入れ、事業所というより、人としての社会貢献活動の考えを植え付けるべきなのでは？</p>
<p>当店は少人数経営の小さな店で、このようなアンケートだけでは何もわかりません。</p>
<p>民生委員や児童委員活動の方々を知らないので地域の委員の方の顔と名前がわかったら嬉しい。小学校などには出入りが多いようですが幼稚園まで知らせていただければありがたいです。</p>
<p>県内外を問わず、各事業所は低迷を続ける不況感の中で、長い長いトンネルの中にある。しかしながら、一方では地域社会に対して多少なりとも貢献したいという志を保っている。遠大な計画や多額の費用を要する事象よりも、身近に、しかもすぐできる奉仕から取り組むスタンスである。特に行政の補助・援助を必要としない社会への奉仕の精神が発揮される場面は無数であると思う。肝要なことは、事業者が社会に向ける関心と熱意ではないか。行政は、①誰が、②どこで、③何を望んでいるかを的確に知らせる役割が最も重要である。</p>
<p>不可能</p>
<p>特に観光地公園においてのごみ処理について多少なり処理している。</p>
<p>企業が日ごろお世話になっている。特に地域の皆様に対し積極的に接し、協議を重ねながらイベントの趣旨目的を明確にすることで、商売人が動き住民、行政を動かし一体となる事ができる。主旨、目的が共有できればまず実施してみる。実施する事で反省し、次に生かせば良い。予算は約3年間企業が少々持ったが、現在は参加費出店費等で運営している。※大切なのは、行政の補助金は最初からあてにしない事が継続の「カギ」である。</p>
<p>無理せず、すぐやれる事をみんなで実行する</p>

<p>申し訳ありませんが、このアンケートをあまり理解できませんでした。回答がうまくかけずすみません。</p>
<p>企業は地域に貢献していきたいと思っている。雇用もできるだけ地元の人間を雇いたいと思っている。しかし行政は、あまりその点はどうでもいいと思っている。表面的なことしか考えていない。今までの中でそういう風を感じた。このアンケートも理解しにくい。</p>
<p>本当に「協働」できるのであれば、分野は問いません。</p>
<p>いずれは他の医療機関に移譲すると思うので今の所ボランティアの余裕がありません。役に立たなくて申し訳ありません。</p>
<p>事業所による社会貢献活動について、積極的な広報・PR 活動の実施。</p>
<p>意識の低さを痛感しました。いろいろ、わからない事ばかりで恥ずかしいです。只、ボランティアもわかりますが、私達生活あつてのボランティアと言うのが正直な気持ちです。現在の子ども 110 番は続けようと思います。乱筆で申し訳ありません。</p>
<p>ボランティアセンターの事をもっと広報してほしい(県・市・町のボラセン)。〇〇市のボラセンのスタッフの対応・態度・言動は長崎県下で最低だと思うので、どうか改善してほしい。〇〇ボラセンには行くのも嫌になってくる。改善していただけるとすごく嬉しいです。ボランティアへの対応も悪いので企業への対応はもっと悪いと思います。ボランティアセンターの事を商工会議所の会報などのチラシ封入などを使って有料かもしれませんが宣伝すると効率いいかもしれませんね。商工会議所と協働して、CRS のセミナーやメリットを伝える事を毎年 1 回程度行ってはどうでしょうか？双方にメリットがあると思います。</p>
<p>当社は現会社を設立する迄、代表者は大崎地区に永年生活の場を置いていましたが、久しぶりに訪れた大崎地区に昔日のおもかげはなく、農地の区画整備は行われているが、荒れるに任せて、現地猪が闊歩して農地の体をなしていない状況でした。何とか手がないかと色々と研究し、関係先の衆知を集め、県央、北部に位置する由大崎地区が海流の関係で当県口の中、加津佐 県南地域と気象条件が一致しており、平成 22 年、農学法人を設立、農学生産法人、認定農学生産法人への格上げを図り、本格的に取り組みを開始しました。当社にとりましては、地域おこしのボランティアと位置づけ、地域おこしと労働の場を提供し、生き甲斐を醸成して行こうというコンセプトであります。当社は町おこしが当社にとってはボランティアの一環として取り組んでいます。</p>
<p>企業とはどういう範囲なのでしょうか？個人企業でも企業として考えられるのでしょうか？個人的には少なくともボランティアをされる人は多くいます。問 6-4 の設問は商工会、商工会議所の名前はないのでしょうか？</p>

<p>就労中の現役世代は社会貢献活動に対して理解が乏しいと言える。団塊世代から高齢者は時間的、経済的に比較的余裕があるので、この世代に積極的にアプローチするとよい。社協等が必要な社会貢献分野の提示も大切である。(アドバイス→ボランティアの支援)社協又は行政がリーダーシップを発揮し活動を指導する。被爆県であるから、若者にも平和活動を促進する。平和記念式典への参加(活動)(運営)。平和祈念式典を市から国の主催へ。</p>
<p>突然アンケートが着いて、何が何だかわからないままなんとなく答えました。もっと詳しく団体の説明をすべきでしょう。又、実際こんな事しておりますとか(事例等)を出しながら具体的説明がほしいです。</p>
<p>1つでもいいので、社会貢献をするように勧めたらどうでしょうか。</p>
<p>県の 会、裁判登録をしなければカウントにならない。カウントがほしいわけではないが、団体から声がかかれば参加させて頂いている。地域に密着した企業を目指す為に。よって、単発のボランティアも(自治会主催等、組織の未)カウントの対象とすべきではないでしょうか。</p>
<p>重機運搬に費用。</p>
<p>豊富な活動をしているリーダー的人材を紹介して頂ければ、いろいろな取り組みやアイデアが広がり、そこに助成金などが加わることで広がっていくのではと考えます。インタビューや詳細な社会貢献活動などへの取材協力はどちらでもない。内容による。</p>
<p>県も市も何かの事業に取り組むと言っても、事業を消化する為に税金を使うだけで意義を感じない。</p>
<p>唐突にこのようなアンケートを送付されてもなんと答えて良いかわかりません。</p>
<p>平成 23 年 6 月に開設したばかりの事業所なので社会貢献活動への理解がまだまだできていないのが実情です。将来的には何かの形で社会とのつながりを持ちたいとは考えていますが。</p>
<p>企業として生き残るのが精一杯で余裕がありません。</p>
<p>社会貢献を実施している団体の活動を具体的に開示してほしい。</p>
<p>講習会、研修会等の開催において聴講者集めに苦慮している。目的が同じ各団体と協力して取り組みたい。</p>
<p>社会貢献活動をどのようにいつ活動するのか具体的に内容が知りたい。</p>
<p>農協で行っている食育活動が社会貢献活動に該当するのかわかりませんが報告いたします。</p>
<p>企業経営者が企業の社会的使命について十分理解を深めることが重要でありその足がかりとなる様々な方策を各方面で展開する必要あり。</p>
<p>社会貢献活動の中に献血がありますが元清が一方的に下請に強制的に押し付けるケースが多い。そこら辺を気を付けてほしい。</p>
<p>本部にて回答いたします。</p>

<p>行政主義による「一継続的な企業一ボランティア活動」の県内推進(義務づける),今回6つの営業所にアンケートのご依頼をされていますが、営業店の回答は一応参考としてください。基本的に〇〇として定めた方針に沿ってCSR活動を行っています。営業店単独の取り組みとしては、周辺の清掃活動や地域行事等への協力などがメインであり、あまり参考にはならないと思います。</p>
<p>県立高校の華道部に指導に行っておりましたが、部活動費が少ないので花代を個人負担になります。出費の問題により伝統文化を続けるのは困難です。</p>
<p>当事業所においてこれを機会に考えてみましたが、なにもできてないことがわかりました。今後はまず当事業所のみではじめられる、エコキャップ活動や、使用済み切手の回収に取り組みたいと考えています。</p>
<p>社会貢献活動において、色々な団体があり、時には同じ問題を各団体ごとに協議し何度も会を重ねている。情報交換が密であれば、関連の団体を同時に集め一括で協議したほうが多方面からの意見を取り入れることも出来るので、より効率的な活動が望めると思います。</p>
<p>私たちが行っている「〇〇」の発刊普及がボランティア社会貢献に役立っているのかが充分わからないところがある。</p>
<p>専門のウェブサイトによる情報共有化</p>
<p>私どもは公益的性格の強い社団法人、いわゆるボランティア団体なので本アンケート回答者としては適切ではないのかもしれませんが、しかしながら、本アンケートの最終目的を県内各企業の社会貢献活動の推進・活性化と見た場合、日本の産業構造として人的余裕が少ない中小企業が圧倒的に多いことから、企業そのものにそうした活動を期待するのは難しいでしょう。また、活動をゼロから始める企業独自の活動となれば、尚更でしょう。よって、私どもの様な社団法人や、各種団体に企業が会員として加盟するのを推進できれば、各団体のボランティア活動もより活発となるでしょうし、結果として多種多様な社会貢献活動の実現につながるものと考えます。実際に海外ではそのような事例もあるようです。</p>
<p>社会貢献活動が実施されていることを県民の皆さんに広く伝えることにより活発化していくと思われまます。この県民の方に伝える手段として、開局30周年を迎え地域密着した私たちの電波を利用する等の展開があるかと思ひます。</p>
<p>建設業にとって社会貢献活動が競争入札の総合評価落札方式の評価項目になっていることから、自発性に向け、必要とするからの活動になっていることは否めない。</p>
<p>以前勤務していた会社では年に1,2回クリーンアップキャンペーンで公園のゴミ拾いとかしていたが、継続的な活動でなければただの企業の自己満足でしかない。また、道路の里親募集事業をときどき見かけるが、ほとんど放置されたものがある。行政、関係機関のチェックも必要である。</p>

活動する者同士(企業体企業)が情報交換する場を積極的に持ち互いに環境意識や地域貢献を高揚しひいては社会貢献につながれば、と思う。

現在の仕事で手いっぱいなので社会貢献活動に取り組む余裕がありません

高齢化社会に取り組む環境を醸成し、柔軟な発想で雇用機会を創設する事業を目指したい。そのためには協調者をみつけることが肝心である。このため、積極的に行動したいと考えているので情報を得たい。

企業の評価を社会貢献も考慮するような仕組みができないのだろうか。たとえばボランティアに参加するときにカードを作り、どれくらい行ったかを記録し評価してもらおう。そうすることで会社にボランティアに参加しやすい環境が出来ると思います。今は、仕事を休んでやるのが難しく土曜日など中小企業は休む所が少なく遊んでいるようにとられがちです。

どこに相談や協力を求めて良いかわからない、どんな活動をしているのかわからないというのが一般的だろうと思う。そこで、PR 周知の方法を、如何に効果的に、身近なところでできるのかと感じます。周知も、見たではなく、観る、知って実行したくなるような PR 方法を考えることが大切と感じます。